

会議用の長机を 中津川市に寄贈

岐阜信金100周年事業

岐阜信用金庫は22日、創立100周年記念事業の一環で、中津川市に長机19台(100万円相当)を寄贈した。長机は、市ひとまちテラスの会議室などで活用される。

同金庫は店舗のある岐阜、愛知両県の27市町に順

次、物品を寄贈している。寄贈式典には同金庫の石神靖也常務理事、中津川支店の安田忍支店長らが出席。石神常務理事は「今後も地域とともに次の100年を歩んでいく。この寄贈が地域社会の発展につながれば」とあいさつ。目録を受け取った小栗仁志市長は「当初の見込みより、ひとまちテラスでの会議室利用の希望が多く、今回の寄贈は大変ありがたい」と感謝を伝えた。(富樫一平)



会議用長机を寄贈した岐阜信用金庫の石神靖也常務理事(左)と中津川市新町、市ひとまちテラス